

2023年度 修士課程入学試験（春期）

試験問題〔専門〕

早稲田大学大学院スポーツ科学研究科

問題A-1～E-9の中から志望研究指導の問題について解答しなさい。

志望研究指導以外の問題を選択した場合や2問以上解答した場合は採点されません。

問題記号	研究領域	ページ
A-1～6	スポーツ文化研究領域	P. 1
B-1～9	スポーツビジネス研究領域	P. 2～3
C-1～18	スポーツ医科学研究領域	P. 4～7
D-1～6	身体運動科学研究領域	P. 8～9
E-1～9	コーチング科学研究領域	P. 10～11

A. スポーツ文化研究領域

A-1 研究指導名：スポーツ史（石井 昌幸）

イギリスでは18世紀末～19世紀初頃から、都市の民衆的娯楽・スポーツが次第に抑圧の対象となる。どのような娯楽・スポーツに対して、どのような人たちが、どのような理由で抑圧を加えたのか。また、その結果はどのようなになったか。具体的に説明しなさい。

A-2 研究指導名：舞踊論（杉山千鶴）

舞踊の諸ジャンルの中から一つを取り上げ、ダンサー／演者に求められるものについて、①ダンサー／演者、②観客、③当該ジャンルを支える組織や共同体の3つの立場から論ぜよ。

A-3 研究指導名：体育科教育学（吉永武史）

よい体育授業を成立させるための内容的条件の1つに「教材」の工夫があげられるが、学習者の学習意欲を喚起するための教材づくりのポイントについて、球技を例に挙げて述べよ。

A-4 研究指導名：スポーツ教授学（深見英一郎）

運動部活動の地域移行が進んだ結果、部員にもたらされる①望ましい効果と、②懸念される事態（問題）について考えるところを述べなさい。

A-5 研究指導名：スポーツ社会学（中澤篤史）

スポーツ・身体・人間に関連する任意の社会学的テーマを考えた上で、i) リサーチ・クエスチョン（問い）を設定し、ii) そのリサーチ・クエスチョンに対する何らかの仮説を立てて、iii) その仮説が実は棄却されるべきことを示す根拠を挙げなさい。

A-6 研究指導名：スポーツ文化論（川島浩平）

特定の競技に優れたアスリートが多い国または地域を一つ取り上げ、その国または地域がなぜ、いかにその競技で優れたアスリートを輩出しているのかを説明しなさい。

B. スポーツビジネス研究領域

B-1 研究指導名：スポーツ経営学（木村 和彦）

体育・スポーツ経営の目的は、「文化としてのスポーツのもつ価値や便益を最大限に引き出し、人々のスポーツ生活の豊かさを実現することである」。カッコ内を、具体的な事例を用いながら、より詳細に説明しなさい。

B-2 研究指導名：健康スポーツ論（中村 好男）

エスピン・アンデルセンの福祉レジーム理論について解説せよ。

B-3 研究指導名：スポーツクラブビジネス論（間野 義之）

アスリートの社会貢献活動の必要性について、スポーツ政策の観点から説明せよ。

B-4 研究指導名：トップスポーツビジネス論（平田 竹男）

日本のJリーグを昇降格のないリーグと制度する場合どのような制度設計となるか？
その場合、如何なる長所と短所が考えられるかトリプルミッションモデルを用いて論ぜよ。

B-5 研究指導名：スポーツ組織論（作野 誠一）

地域スポーツクラブにおいてボランティアの継続的な参加と協力を得るために留意すべきことがらを人材マネジメント（Human Resource Management）の観点から述べよ。

B-6 研究指導名：スポーツビジネス・アドミニストレーション（武藤 泰明）

イングランドプレミアリーグに所属するプロサッカークラブの多くは Charter(憲章)をホームページに掲載していますが、この憲章の文章の中には、高い頻度で「サポーター」の語が使われています。一方、日本のJ1のプロサッカークラブのホームページには、イングランドの憲章に相当するものとしてクラブ理念が掲げられていることが多いのですが、そこには、「サポーター」、あるいは「ファン」の語がほとんど見られません。
日本のJ1クラブがその理念において「サポーター」を語らない理由を考察してください。

B-7 研究指導名：スポーツビジネスマーケティング（松岡 宏高）

スポーツ組織（プロスポーツチーム、フィットネスクラブ、競技団体など）におけるマーケティングの重要性について、具体的な戦略を含めて論じなさい。なお、下記に挙げる語句をすべて用いること。

ニーズ ロイヤルティ 新規顧客 調査（またはリサーチ） ターゲット（またはターゲティング）

B－8 研究指導名：スポーツビジネス法（松本 泰介）

新型コロナウイルスの感染拡大により、東京オリンピックパラリンピック競技大会を中止することの可否について、開催都市契約の内容に触れながら述べなさい。

B－9 研究指導名：スポーツ&エンターテインメントマネジメント（佐藤 晋太郎）

スポーツイベントが人々のウェルビーイング向上に「どのように」寄与すると考えますか？
以下から一つを選び、具体的に説明してください。

- (1) スポーツ参加者
- (2) スポーツ観戦者
- (3) スポーツイベント開催地の住民

C. スポーツ医科学研究領域

C-1 研究指導名：運動免疫学（赤間 高雄）

唾液分泌型免疫グロブリン A の働きを説明し、一過性運動に伴う分泌量の変化と継続性運動トレーニングに伴う分泌量の変化をそれぞれ説明しなさい。

C-2 研究指導名：運動器スポーツ医学（鳥居 俊）

次の2つの問題のいずれか1つを選んで回答しなさい。

1. 少年野球では練習や試合にさまざまな制限を設けてけがの防止に努めている。このような制限が必要な理由や、制限の現状の課題について記しなさい。
2. サッカーでは子どもたちのヘディング是非が議論になり育成世代に対してガイドラインが作成された。ヘディングが問題となった理由や現状の課題について記しなさい。

C-3 研究指導名：健康行動科学（岡 浩一朗）

以下の設問から1つを選択し、知るところを述べよ。

- 1) 子ども・青少年におけるスポーツ経験と非認知能力の関連
- 2) アスリートのメンタルヘルスの維持・向上に果たす心理的安全性の役割

C-4 研究指導名：スポーツ整形外科学（金岡 恒治）

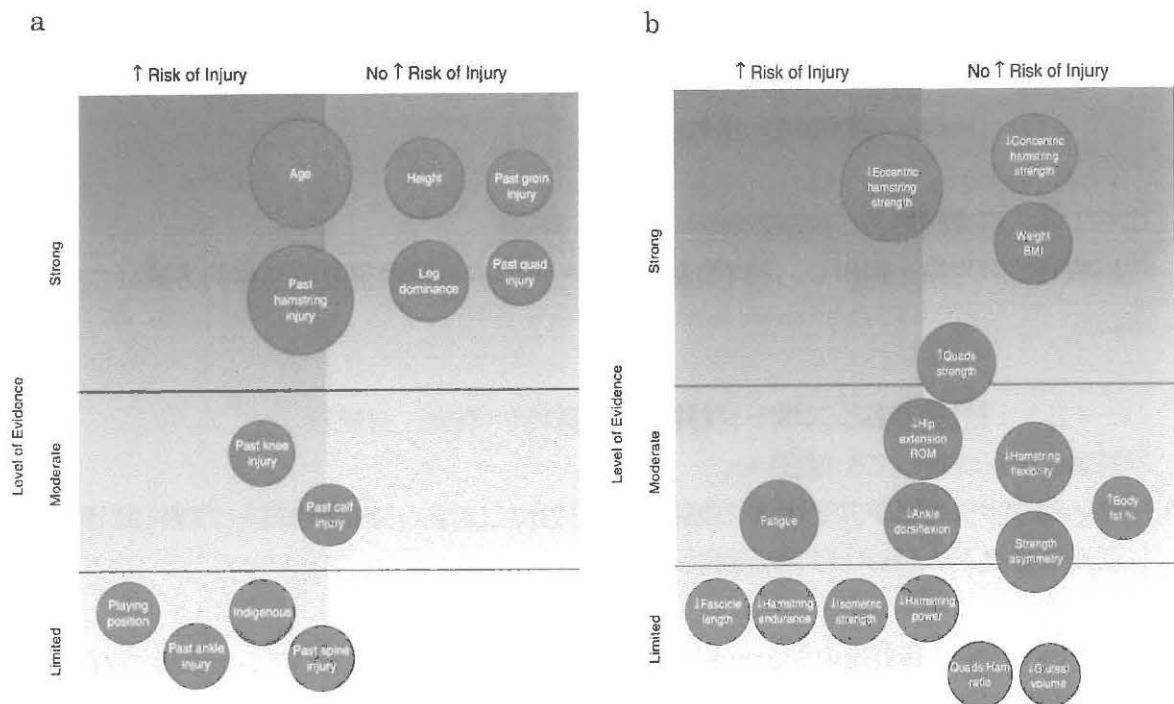
腰椎分離症の発生メカニズムを概説し、その予防となる運動療法について解説してください。

C-5 研究指導名：予防医学（鈴木 克彦）

運動による内科的障害を1つ挙げ、その特徴（具体的症状や検査異常）、発症機序および予防法について知るところを述べよ。

C-6 研究指導名：アスレティックトレーニング（広瀬 統一）

下の a と b の図は、ハムストリング肉離れの二つの種類の危険因子を示したものである。a と b の違いについて説明した上で、ハムストリング肉離れを予防するための取り組みについて、下図が示す情報をもとに自身の考えを示せ。



出展：Tania Pizzari, Brady Green & Nicol van Dyk. (2020) Extrinsic and Intrinsic Risk Factors Associated with Hamstring Injury. In; Prevention and Rehabilitation of Hamstring Injuries, Springer, pp 83-pp115.

C-7 研究指導名：筋生物学（秋本 崇之）

骨格筋における糖取り込みの分子メカニズムについて述べよ。

C-8 研究指導名：運動代謝学（宮下 政司）

脂質異常症の予防のための身体活動の役割について、知ることを述べよ。

C-9 研究指導名：運動器スポーツ機能解剖学（熊井 司）

バスケットボール選手が、練習量の急激な増加とともに膝前面痛を訴えて競技を休止せざるを得ない状態となった。病院を受診し X 線検査で骨構造の破綻など外傷性変化は認められないことが確認されている。この選手に起こっている障害について、どのような病態が考えられるか。また、どういった治療が勧められるか。

以下の 9 個のキーワードの中から 6 個以上用いて考えを述べよ。

キーワード：オーバーユース、膝蓋腱、着地動作、大腿四頭筋、微小損傷、柔軟性、超音波画像、運動療法、体外衝撃波

C-10 研究指導名：健康教育学（石井 香織）

健康教育学の理論を援用し、学校場面での子どもの身体活動推進の具体的方策について述べよ。

C-11 研究指導名：スポーツ神経精神医科学（西多 昌規）

設問 A、B に解答してください。

Mさんはロサンゼルスで行われる競技大会に参加します。東京羽田を 17 時に出発し、ロサンゼルスにはその日の 11 時頃到着します。

A. ロサンゼルス到着後のジェットラグ（時差障害）の症状について、どのような症状があるか記載してください。

B. ロサンゼルス行きのジェットラグ対策として、どのような手段があるでしょうか。体内時計の位相変化も交えて、移動する前、航空機で移動中、到着後に分けて説明してください。

C-12 研究指導名：スポーツ疫学（澤田 亨）

「情報バイアス」を説明せよ。

C-13 研究指導名：アスレティックパフォーマンス（平山 邦明）

パワークリーンの至適負荷（バーベルに対して発揮される力学的パワーが最大になる負荷）について、以下の問いに答えよ。

- 1) パワークリーンの 1 回最大挙上重量の何%の負荷が至適負荷となるか答えよ。
- 2) 1) で回答した負荷が至適負荷となるメカニズムについて答えよ。

C-14 研究指導名：環境運動生理学（細川 由梨）

以下の文章に対するあなたの考えを明確にし（例：そう思う・そう思わない）、その理由を述べよ。

『熱中症は 100% 予防することはできないが、労作性熱射病からの死は 100% 予防することができる。』

C-15 研究指導名：スポーツ生化学・遺伝学（谷澤 薫平）

DTC (direct-to-consumer) 遺伝子検査の問題点を挙げた上で、スポーツにおけるタレント発掘や適正種目の選択、さらにはトレーニングの個別化などに DTC 遺伝子検査を活用することの是非について、あなたの考えを述べよ。

C-16 研究指導名：スポーツ生理学（前田 清司）

高血圧の運動療法として、適切な運動はどのような運動であるか、理由とともに述べよ。

C-17 研究指導名：応用生理学（宮地 元彦）

習慣的運動によって高血圧患者の血圧が低下する。その生理的メカニズム（原因）について説明しなさい。

C-18 研究指導名：スポーツ傷害・怪我・予防学（杉本 大輔）

Please read two write-ups listed below. Pick one of the topics and write an essay in English.

- One of the sustainable development goals (SDGs) is reduced inequality. What type of problems have you faced related to inequality in recent years? What are potential solutions you can think of in next 5-10 years at global scale? What are ideal actions each citizen should take in his/her daily living to reduce inequality?
- What did you accomplish in your college life? Who assisted you to reach this goal? What did you learn from this experience?

D. 身体運動科学研究領域

D-1 研究指導名：生体ダイナミクス（川上 泰雄）

人間の身体運動において見られる、筋腱相互作用を通じたパワーアップのメカニズムについて、知るところを述べなさい。

D-2 研究指導名：スポーツ心理学（正木 宏明）

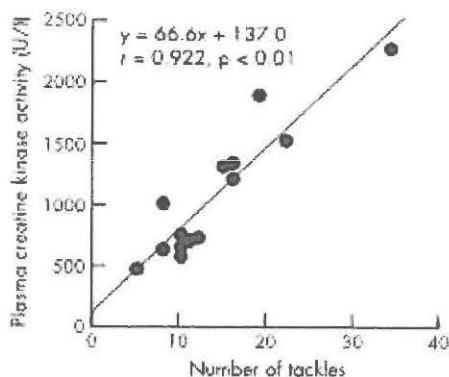
注意がクロズドスキルスポーツのパフォーマンスに及ぼす影響について、内的注意と外的注意の観点から説明しなさい。

D-3 研究指導名：統合運動神経生理学（宝田 雄大）

以下の2問のいずれかを選択し、その設問に解答しなさい。

A ヒトの随意筋収縮力決定因子主因3つのうち、1ヵ月程度の短期的な筋力トレーニングにより改善を期待できる因子を挙げ、その理由を述べよ。

B 下記散布図のx軸とy軸は、それぞれ15人制ラグビーの試合中のタックル数*とクレアチンキナーゼ**活性を示している。この散布図から、研究者はラグビー選手の筋の構造的破壊の主な原因はフロントタックルであると結論し (Takarada, 2003)、その上で、その衝撃力は身体の大きさに強く影響されるので小柄なチームが海外の強豪チームに勝利することは至難の業であるとしている。これらの根拠についてあなたの考えを述べよ。



(Takarada, 2003 より抜粋)

※ページ下部に出典を追記しております。

*ボールキャリアーが、相手プレーヤーに捕まり地面に倒された場合に、タックルが成立する。特に、ボールキャリアーを正面から受け止め倒し、ボールを奪い取ろうとするプレーをフロントタックルという。タックル数には、このフロントタックルを行った回数とフロントタックルを受けた回数が含まれる。

**クレアチンキナーゼ (Creatine Kinase, CK) は、動物が持つ酵素で、筋肉の収縮の際にエネルギー代謝に関与している。CKは骨格筋・心筋が障害を受けた際に血液中へ流出する逸脱酵素として临床上重要である。心筋梗塞、筋炎、筋ジストロフィーなど心筋障害・筋疾患で血中濃度が上昇するが、激しい運動などでも筋線維が壊れる (筋の構造的破壊) ため CK の上昇がみられる。参考正常値 50~250U/l。

※WEB掲載に際し、以下のとおり出典を追記しております。
Reproduced from *British Journal of Sports Medicine*,
Y Takarada, Volume 37, 2003 with permission from BMJ
Publishing Group Ltd.

D-4 研究指導名：バイオメカニクス（矢内 利政）

自転車等の二輪車で水平な路上を通常走行（前後輪共に路面に接地した状態での走行）をする際には、走行スピードが低い時ほど左右へのバランスを取るのは困難になり、蛇行しやすくなる。さらには、スピードをゼロまで低下させるとバランスを維持するのは極めて困難になる。この理由について、次のキーワードの中から必要な用語を用いて力学的に説明し、これに基づいてBMX選手に求められる身体能力について議論せよ。

キーワード：『運動の法則』『向心加速度』『角運動量』『重心』

D-5 研究指導名：スポーツ栄養学（田口 素子）

スポーツ選手の骨の健康問題を回避するために考えられる栄養面でのアプローチについて、知るところを述べなさい。

D-6 研究指導名：運動生理学（林 直亨）

ヘモグロビンによる酸素運搬について説明しなさい。以下の用語3つを含めて記述すること。

・肺胞 ・酸素分圧 ・ボア効果

E. コーチング科学研究領域

E-1 走運動・コーチング科学（磯 繁雄）

障がい者スポーツ選手のトレーニング実施には、一般スポーツに加えて「健やかな生活を保つ」目標があります。あなたが世界記録を目指せそうな障がい者スポーツ選手を指導する場合、注意すべき指導視点を1つ示して具体的な対応方法を述べよ。

E-2 トップスポーツコーチング科学（奥野 景介）

「我が国のアスリートがひたむきに努力し、試合で躍動する姿は、国民の誇りや感動につながり、国に活力をもたらすものであることから、関係機関と連携し、中央競技団体(NF)が行う競技力向上を支援する。そうした取組を通じ、オリンピック・パラリンピック競技大会等を含む主要国際大会において、過去最高水準の金メダル獲得数、メダル獲得総数、入賞数及びメダル獲得競技数等の実現を図る。」（第3期スポーツ基本計画、文科省）

これを踏まえて、トップレベルのアスリートを対象とした競技力の向上を図るために、どのようにコーチ（指導者）の資質を高めていけば良いか、自分の考えを述べなさい。

E-3 スポーツコーチング学（土屋 純）

学習者が既に習得している身体動作を習熟させるための練習方法にはどのようなものがあるか、またその際指導者が留意すべきことについて述べよ。

E-4 コーチング心理学（堀野 博幸）

コーチングにおける「コーチの対他者力」の重要性について、コーチング現場での具体例を示しながら説明してください。

E-5 ボールゲーム戦術戦略論（倉石 平）

ゲームプランを立案するとき、リーグ戦、トーナメント戦での立案、どのように考えて立案するか、違いを考慮して具体的に述べよ

（リーグ戦とは、大学リーグなど2か月程度毎週末ゲームを想定、トーナメントは1週間ほぼ毎日ゲームを想定）

E-6 トレーニング科学（岡田 純一）

レジスタンストレーニングの主目標を①筋力および②筋肥大とした場合の運動条件（運動強度、反復回数、セット数、セット間の休息）について、①と②の違いを対比しながら、生理学的影響や意義を説明しなさい。

E-7 チームスポーツコーチング論（松井 泰二）

ゲーム（試合）内で発現する技術と技能について具体的に明示し、説明しなさい。その際に競技名や種目等を明らかにすること。

E-8 武道のコーチング学（射手矢 岬）

対人格闘技において①自分を観る、②相手を観る、③相手から自分を観るという3つの観点から、戦いの戦略を立て、説明しなさい。

E-9 冬季スポーツコーチング学（藤田 善也）

冬季オリンピックは約100年の歴史があるが、冬季競技の環境も大きく変わってきた。冬季スポーツを1つ選び、環境要因の変化が選手の持つ運動技術にどう影響を及ぼしてきたか、説明せよ。

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There is no text or other markings on the paper.